

れいわなねんど
令和七年度 四・五・六月の詩

() 年 () 組 名前 ()

ぼくがここに

まど・みちお

ぼくがここに いるとき

ほかの どんなものも

ぼくにかさなって

ここに いることは できない

もしも ゾウが ここに いるならば

そのゾウだけ

マメが いるならば

その一つ^{ひと}づの マメだけ

しか ここに いることは できない

ああ このちきゅうの うえでは

こんな に だいじに

まもられているのだ

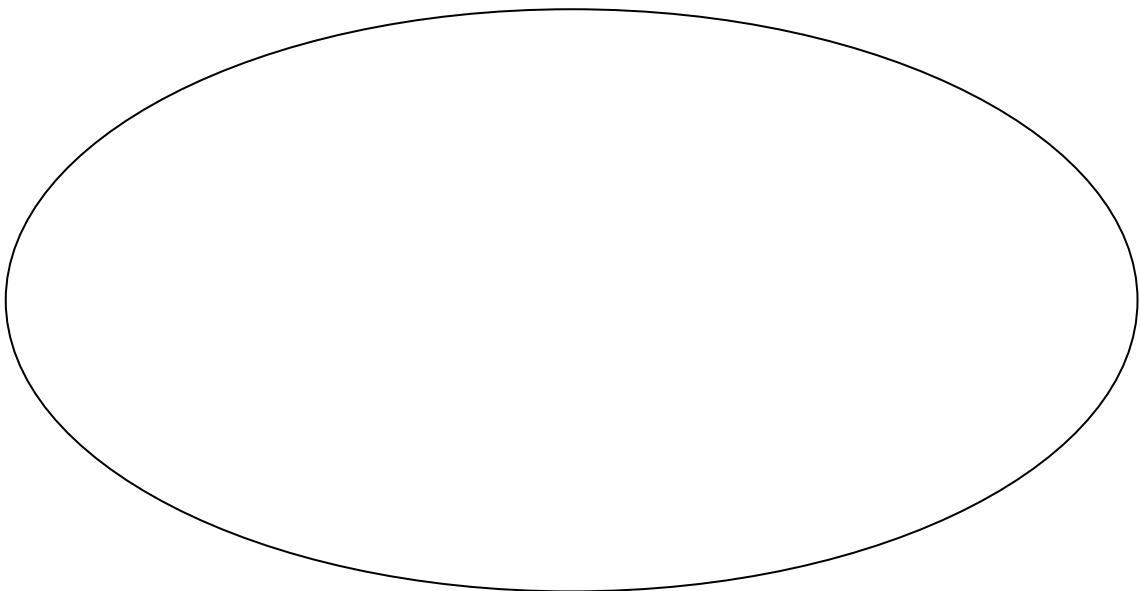
どんなものが どんなところに

いるときにも

その「いること」こそが

なににも まして

すばらしいこと として



おもいうかんだえやイラストをかいてみましょう。